

ふれあい

主な内容

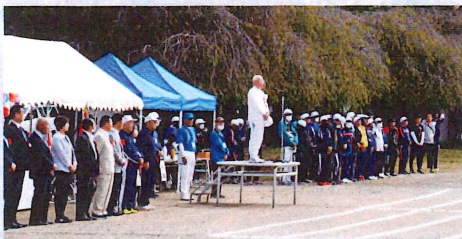
- 1 P. 第29回秋季大運動会
- 2 P. 第38回コミュニティまつり
- 3 P. 私のひとりごと・地域のわだい
- 3 P. 一中地区のトピック
- 4 P. 私のふるさと・健康コーナー
- 4 P. 部会だより

●発行所/ひたちなか市長堀町3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) ☎029-275-2671 ●発行責任者/坂井 久彦 ●編集/広報委員会

5年ぶりに大運動会を開催!!



10月8日、秋晴れのもと第29回一中地区秋季大運動会が、長堀小学校グラウンドで開催されました。新型コロナウイルス感染症が下火となったため5年ぶりに、時間を午前中に短縮して実施。高齢化等で参加希望者が減り、参加を辞退する自治会もありましたが、10自治会が熱く戦い、金上自治会の優勝で幕を閉じました。



会長の挨拶



開会式 さあやるぞ!



①狙いを定めてエイッ!



②びんに当たって!



③元気にダッシュ



④おまたせ ハイッ!



⑤うまく入れてネ😊



⑥ボールはどこへ行く?



⑦ドスン…バーン!



⑧バトンをつないでGO!



⑨1着でゴールイン!



優勝は 金上自治会

得点表

自治会	富士山	勝田駅前南	勝倉	笹野	中根	大町	西成	三反根	大田	金上
① 輪投げリレー	5	4	3	3	2	5	2	6	6	4
② 三世代びん倒しリレー	5	5	6	2	3	4	2	3	4	6
③ 心を一つに	5	6	4	0	4	4	4	6	5	6
④ ボールにおまかせ	4	6	4	5	6	4	5	6	3	5
⑤ ケツ庄測定	5	4	3	2	6	2	4	5	3	6
合計得点	24	25	20	12	21	19	19	25	21	27
順位	4	3	7	10	5	9	8	2	6	1

<得点外種目>

③ 未来ヘダッシュ										
④ マール運びリレー(70kg順位)	1	3	3	4	1	3	2	2	1	2
⑤ 総合リレー(タイム順位)				7	1	5	2	3	4	6

4年ぶりに開催！『一中地区コミュニティまつり』



開会式 来賓の海野・加藤・大内市議と学区内の校長を迎えて

11月11・12日に第38回コミュニティまつりが行われました。今年は館内の作品展示だけでなく、久々に館外のイベントも実施。時折小雨がちらつく師走並みの寒空でしたが、待ちに待ったまつりを皆で大いに楽しんでいました。



お楽しみ抽選会
お米が当たった！



綿あめ



チョコバナナ

縁日(青少年部会) おいしいよ！



クリスマス飾り



バルーンアート



菊花展
綺麗だね！



館内の展示也大賑わい



ランタン

手作り工作(青少年部会) うまく作れるかな?!



おもいやり市場(福祉部会) いらっしやい!!



花苗(環境部会) どの花がいいかな?



青空市場・やきいも(体育部会) 新鮮な野菜だよ



やきとり(金上自治会) 行列ができる人気のやきとりコーナー



人気の喫茶メニュー
手作りクッキーを添えて



喫茶コーナー(文化部会) 歌声喫茶開店中♪



天ぷらそば(安全防災部会) 温かいそば おいしいね😊



やきそば(西中根自治会) 調理中😊



中学生のお手伝い 一日お疲れ様でした



私のひとりごと



「つながり」の大切さ

東中根団地自治会 松本 定巳(3)

子供の頃の「地域」の話である。私は農家に生まれ育った。当時の農業は農業機械は無く、田植えなど短期間に集中的に人手が必要で、家族だけの人手で足りない場合は、数軒の農家が人手を出し合い、各農家の田植えを順番に行っていた。結婚式・葬式は自宅で行うのが一般的で、準備は隣近所の人たちの手によって行っていた。この時代は隣近所の深いつながりがあり、連帯・協同の地域社会が形成されていたのである。

時代が進み、農業は機械化され、自営から勤めへと働き方が変わり、冠婚葬祭も登場した。こうした変化を背景に今日では、地域社会の連帯や協同は少なくなり、隣近所つながりやつきあいも希薄化した。多忙な仕事や共働きなどにより、地域社会に目を注ぐのもまならなくなっている。

しかし、どんなに社会が変わっても、地域には大切な機能がある。例えば子供たちは、地域の人々とふれあうことで、思いやりや労りなど豊かな心を育む。地域の人の声かけで「地域の人に包まれている」ことを実感し、逞しく育つ糧にもなる。地域社会は、社会性など様々なことを学び育つ場である。高齢者の健康維持には、運動や人との交流がよいと言われている。定年退職後は、人との交流が少なくなりがちであるが、地域の人々とふれあうことにより、健康を支えることにもなる。

近年、児童虐待・高齢者の孤独死など深刻な問題が起きている。これらの問題は専門機関が対応しているが、人々がつながり・ふれあう地域社会をつくることは、虐待や孤独死などを招かないことにもつながる。

福祉の仕事を長くしてきたが、深刻な問題に直面し心を痛めるたび、かつての地域機能を、今の時代に合ったように再生できないかと考えてきた。今後、つながりやふれあいの地域社会づくりを考えたい。

私のひとりごとである。



わが庭の歳時記

金上自治会 大内 由利子(7)

庭造りをして20年が経った。私にも、年齢を重ねても尚、心に残る故郷の風景がある。県西地方の旧猿島郡猿島町(現坂東市)の風景である。

東に筑波山、北に日光連山、そして遙か西の方向に富士山が望めた。特に冬の夕方、夕焼けを背景に富士山がシルエットで浮かんで見えるのは格別だった。実家の周囲は畑が多く、その中にそれほど広くない雑木林が点在した。その雑木林に見た四季の移ろいが、未だに心に残っている。春は山桜が咲き、スミレ・センブリなどの野草が出ていた。センブリは採取して乾燥させ、胃薬にした。夏は新緑が鮮やかになり、秋はリンドウやアザミなどが咲いていた。

20年前、この猿島の里山の風景をイメージした庭を造ることを考えた。雑木を植栽し、下草には四季折々に咲く山野草を植えた。そこに、どうしてもさらさらと流れる小川が欲しくて、井戸を掘り地下水を流して小川を造った。今、この小川にはクレソンが自生している。

《春》庭にツクシ・アカハラが来ると、河津桜・豊後梅・木瓜の花が次々に咲く。山野草はカタクリ・ニリンソウ・ショウジョウバカマ・ミヤコフスレなどが咲くと、徐々に新緑が鮮やかになる。

《夏》エヒネラン・アヤメ・アジサイ・ホタルフクロ、そして私の好きな山百合が良い香りを放ちながら咲く。夏はセミの鳴く声に暑さを感じつつ感じる。シシユウカラヤキツツキの仲間のコケラも、この頃やってくる。

《秋》樹木もつつすらと紅葉が始まり、アキアカネが庭に来る。山野草はシユウカイドウ・シユウメイキク・タイムンソウ・リントウ・ノコンギク・フシバカマ・オミナエシ・ナデシコなどの花が咲く。

《冬》渡り鳥のシユウビタキが庭に来ると、いよいよよ冬到来である。寒さが増すと、根元に霜柱のような白いものを付けるシモバシラという珍しい野草が、いつと寒さを感じさせる。季節の移ろいを感じながら、我が庭の樹木と50種類ほどある山野草を訪れる小鳥たちにより、ふるさとを想い、心が満たされる日々である。



一中地区のトピック

青色防犯パトロール表彰

山田 俊

令和5年10月11日、ザ・ヒロサワ・シティ会館(旧県民文化センター)において第45回地域安全茨城県大会が開催されました。

この中で各種表彰があり、防犯連絡協議会一中分会は関東管区警察局長より特別功労団体として表彰されました。県以上の行政からの団体賞としては、ひたなが市では初めてのことです。これはひとえに30有余年の前から、この活動に係わってきた関係者への朗報だと思えます。公に認知されたことになり、ご恩に報いることになりました。やってきてよかったと思います。年代によって係わる人は変わってきましたが、関係者すべての人たちの喜びになったのではないのでしょうか。

振り返ってみますと、協力いたしたる人がなかなか集まらず断絶の危機が何度もありました。そのたびに、尋常ではない人たちの奮闘によって回避してきました。また、青パト車が無かった頃、個人の車を提供・協力してくれる熱心な人たちがいて、頭の下がる思いでした。このように行き詰まりのたびに救世主が現れ、一中地区の市民力(民度)を感じました。

50世帯に一人の防犯連絡員の確保を目指していましたが、これは一部自治会を除いて達成しています。コロナ禍で自粛していた活動は、本来に戻りつつあります。

地域を犯罪から守るといふ大目標はあるのですが、活動自体は地道で地味なものです。これからも、無理をせず着実に進めていきたいと考えております。

第45回 地域安全茨城県大会



表彰式後 役員とともに



勝田駅前地域安全防犯街頭活動

地域のわだい

『一中プライド』を胸に

本校の部活動は、体育部・文化部合わせて19の部から成り立っており、日頃から熱心に練習を行っています。

今年度の総合体育大会では、水泳部と剣道部の2つの部活動が関東大会に出場しました。市新人戦では、柔道部個人・男子バレーボール部・野球部・男子バス

ひたちなか市立勝田第一中学校 ケットボール部・剣道部男子団体/個人・男子テニス部団体/個人と多くの部が優勝を果たしました。教師の熱心な指導と生徒の頑張りがあり、よい結果を生み出しています。結果だけではなく、一中生としての誇り『一中プライド』を胸に、大会や試合に臨んでいます。



剣道部女子



男子バレーボール部

西中根夏まつり

西中根自治会

8月5日、出荷組合集荷所において4年ぶりに夏まつりが行われました。

今年は例年になく猛暑の中、朝から会場準備。午後1時から、大谷市長や海野県議ほか来賓の方々の出席のもと、開会式が行われました。焼き鳥・焼きそば・綿あめなどの屋台販売や福引抽選会が始まり、ステージでは子ども会のお囃子太鼓の演奏やカラオケ大会が行われました。6時からやぐらの周

りで「三浜盆踊り」。だんだん薄暗くなり、まつりの提灯の下での盆踊りが盛り上がり続けた8時に閉会式で終了しました。

熱中症対策に、誰でも飲める氷入り梅ジュースと麦茶のジャグを用意。あつという間に無くなり、何回も補充。久しぶりに地域住民が集まり、盛大な夏まつりとなりました。



